

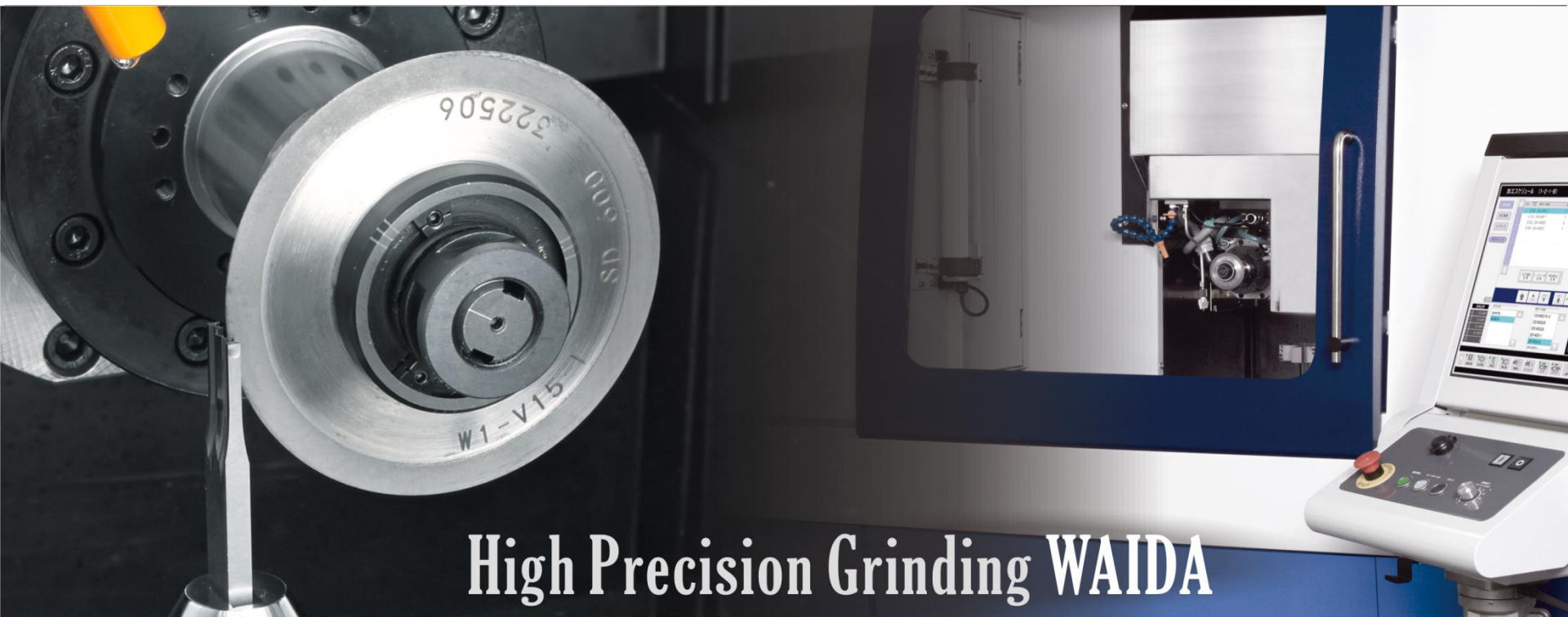
2021年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 和井田製作所
2020年11月20日

東山風致地区（岐阜県高山市）

証券コード：6158

会社概要

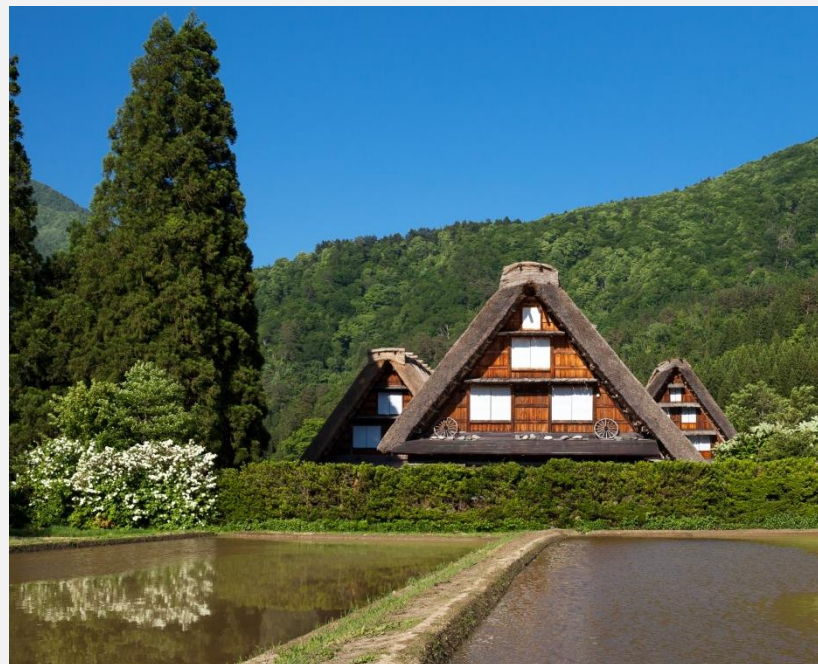


High Precision Grinding WAIDA

会社名	株式会社 和井田製作所	事業内容	特殊研削盤の製造・販売
本社	岐阜県高山市片野町2121番地	資本金	8億4,330万円
代表者	代表取締役会長兼社長 和井田光生	従業員数	168名(連結)
設立	1946年10月(現在第92期目)	所属団体	(一社)日本工作機械工業会

- **2021年3月期 第2四半期 決算概要**
- **2021年3月期 通期 業績見通し**
- **経営課題の進捗状況**

2021年3月期 第2四半期 決算概要



※ 金額表示は単位未満切り捨てております。
%表示は四捨五入しております。

決算ハイライト（連結）

（単位：百万円）

	20/3期 上半期 実績	21/3期 上半期 期初計画※1	21/3期 上半期 実績	前年同期比	計画比
売上高	4,118	1,930	2,123	51.6%	110.0%
売上原価	2,318	1,324	1,319	56.9%	99.7%
売上総利益	1,799	606	803	44.6%	132.6%
〔売上総利益率〕	43.7%	31.4%	37.8%	▲5.9ポイント	+6.4ポイント
販売管理費	782	697	676	86.5%	97.0%
営業利益	1,017	▲90	127	12.5%	—
〔営業利益率〕	24.7%	▲4.7%	6.0%	▲18.7ポイント	—
経常利益	1,024	▲88	133	13.1%	—
〔経常利益率〕	24.9%	▲4.6%	6.3%	▲18.6ポイント	—
四半期純利益※2	711	▲86	89	12.6%	—
〔四半期純利益率〕	17.3%	▲4.5%	4.2%	▲13.1ポイント	—

※1 2020/5/11 開示

※2 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「四半期純利益」として表示しております

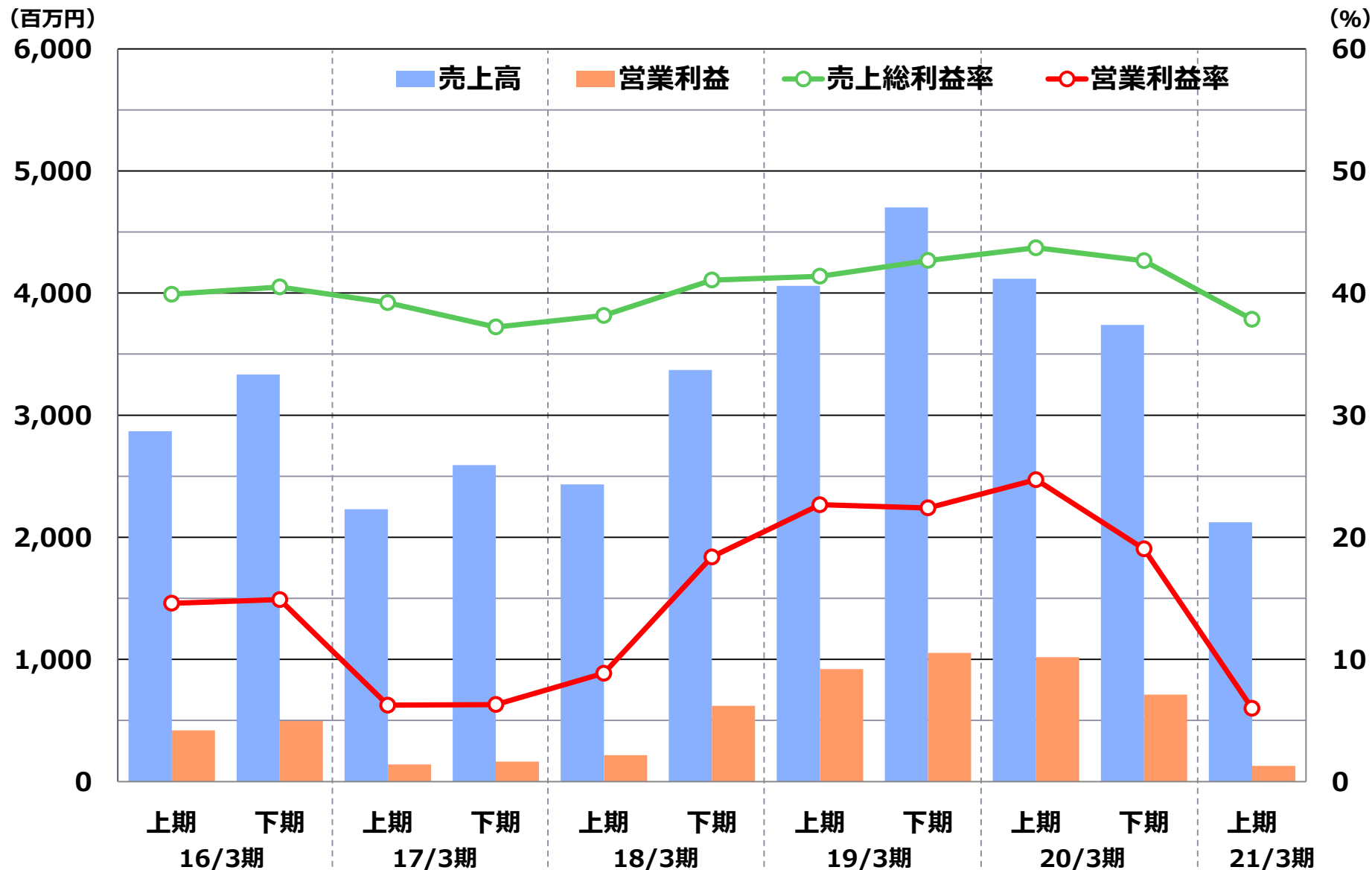
期初計画との差異について

次の施策による効果や渡航制限に伴う費用発生が遅れなどが期初の想定を上回ったことから、第2四半期累計期間の各利益額は期初計画を上振れる結果となりました。

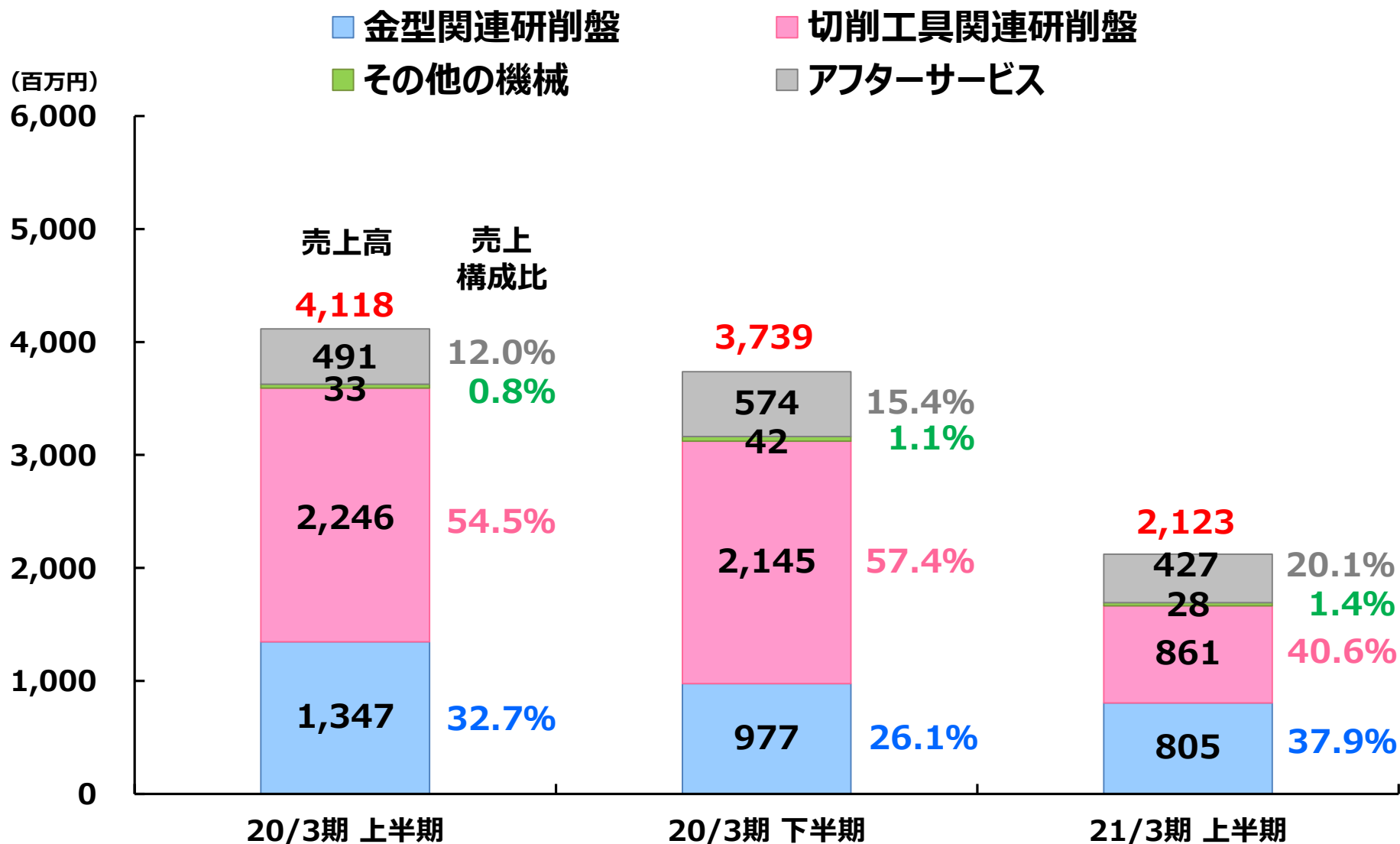
コスト改善、コストアップの抑制	利益減を抑制
設備投資、経費類の抑制	利益減を抑制
顧客対応への積極的なリモート業務の導入 ①受注活動、納入検収、アフターサービスの活動維持 ②国内外の出張制限の長期化による諸経費減	①売上高の維持 ②利益減を抑制
渡航制限による現地作業費用等の繰り延べ	利益減を抑制※1

※1 ただし、下半期以降に渡航制限が解除され次第、費用負担が発生する見込み。

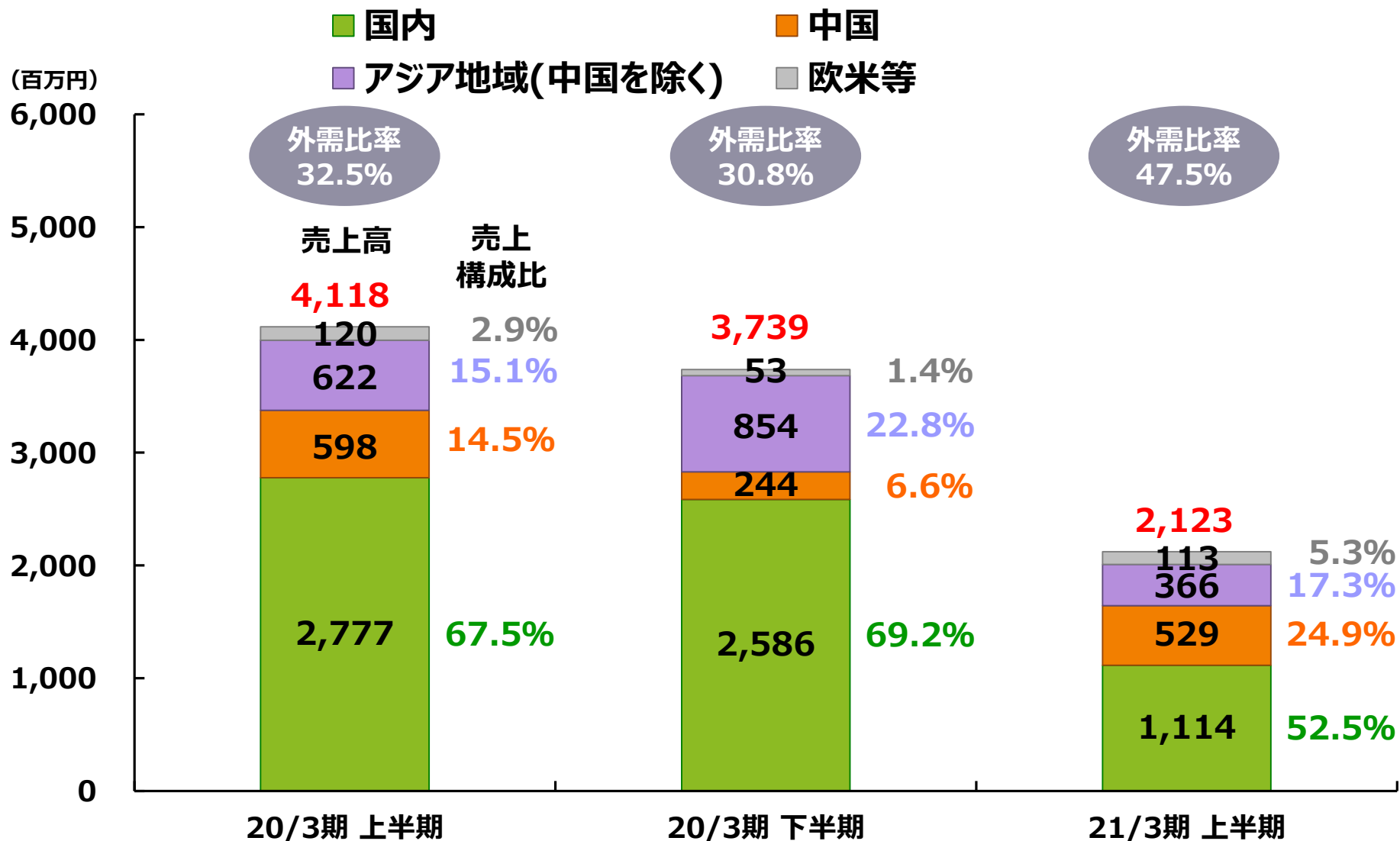
業績推移 (連結)



品目別売上高（連結）



地域別売上高（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。

貸借対照表（連結）

<資産の部>

(単位：百万円)

	20/3期 期末 (20/3/31) 実績	21/3期 上半期末 (20/9/30) 実績	増減
現金・預金	4,897	5,508	611
売上債権	1,168	744	▲424
たな卸資産	2,059	2,046	▲13
その他流動資産	29	73	44
流動資産合計	8,154	8,372	217
有形固定資産	2,027	1,981	▲45
その他固定資産	362	335	▲26
固定資産合計	2,389	2,317	▲72
資産合計	10,544	10,690	145

<負債・純資産の部>

(単位：百万円)

	20/3期 期末 (20/3/31) 実績	21/3期 上半期末 (20/9/30) 実績	増減
仕入債務	515	293	▲222
有利子負債(短期)	228	410	181
その他流動負債	830	280	▲550
流動負債合計	1,575	983	▲591
有利子負債(長期)	574	1,346	772
その他固定負債	264	275	10
固定負債合計	838	1,622	783
負債合計	2,413	2,605	192
純資産合計	8,131	8,084	▲46
負債・純資産合計	10,544	10,690	145

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	20/3期 上半期 (19/4/1~9/30) 実績	21/3期 上半期 (20/4/1~9/30) 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	415	▲118
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲135	▲66
フリー・キャッシュ・フロー（※）	279	▲184
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲186	791
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲9	3
現金及び現金同等物の増減額	83	611
現金及び現金同等物期首残高	3,496	4,557
現金及び現金同等物期末残高	3,580	5,168

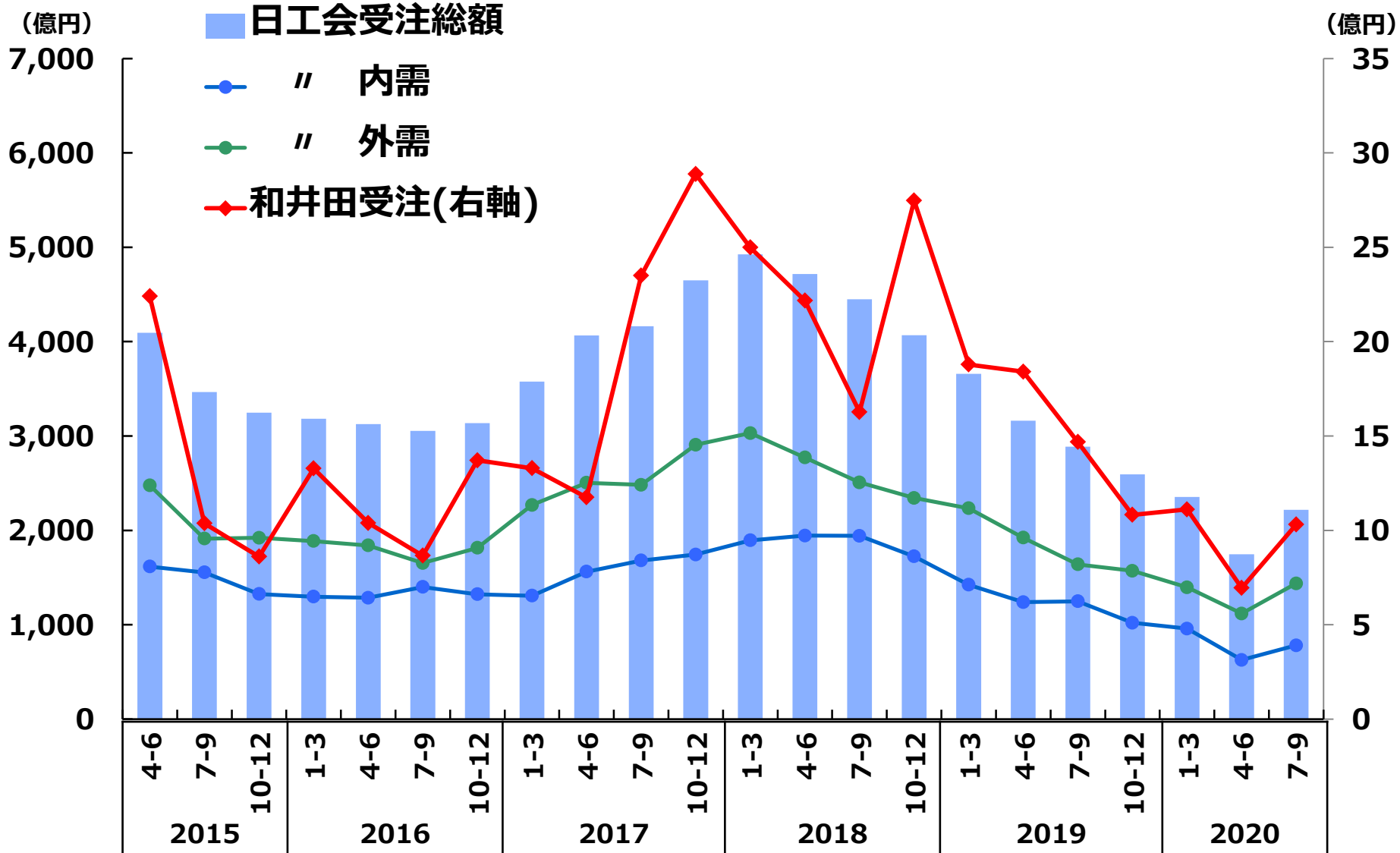
※ フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

2021年3月期 通期 業績見通し



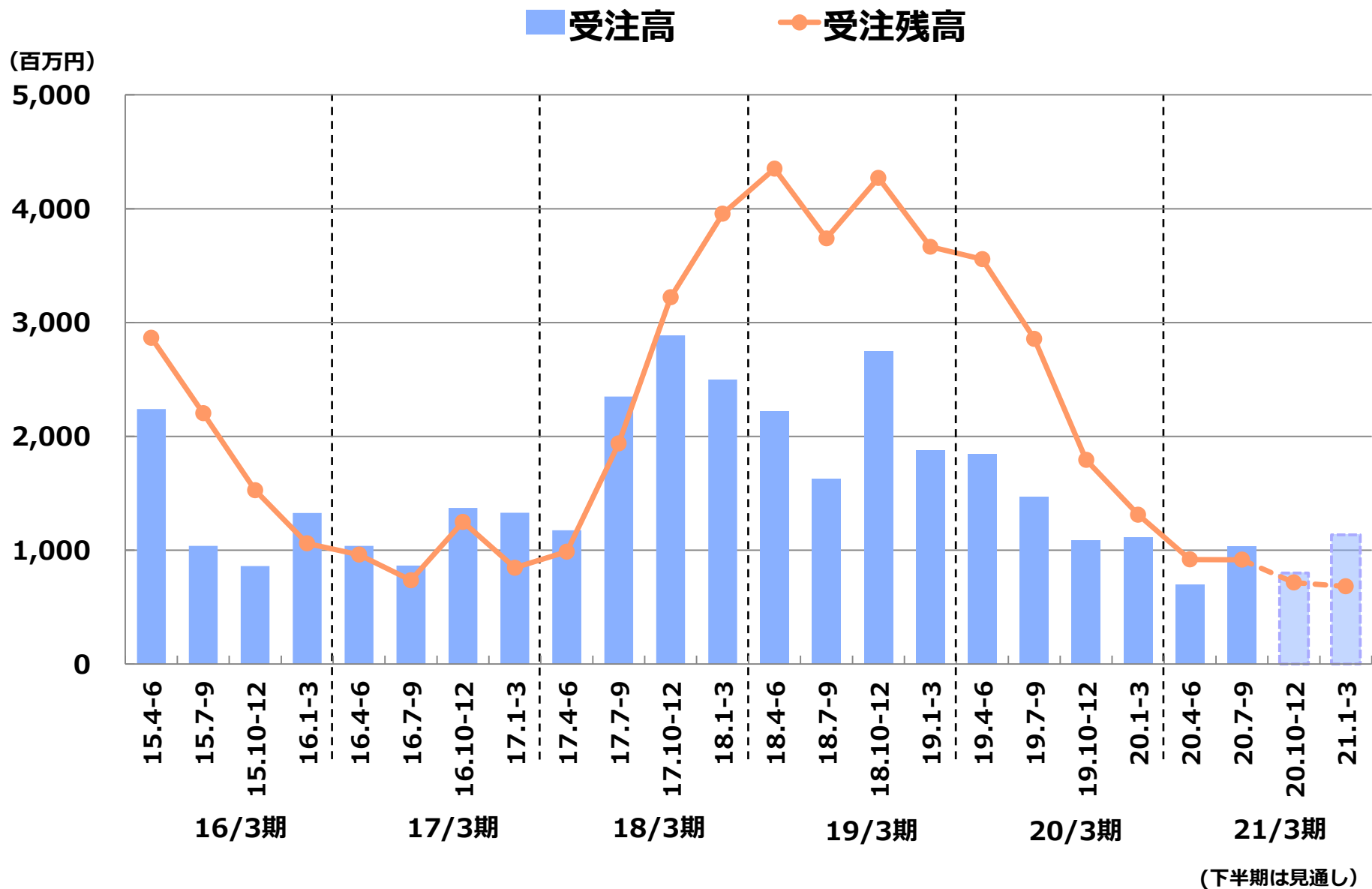
※ 金額表示は単位未満切り捨てております。
%表示は四捨五入しております。

日工会／当社 受注比較



(出所 | 日本工作機械工業会)

当社 受注高・受注残高（連結）の推移



業績見通し（連結）

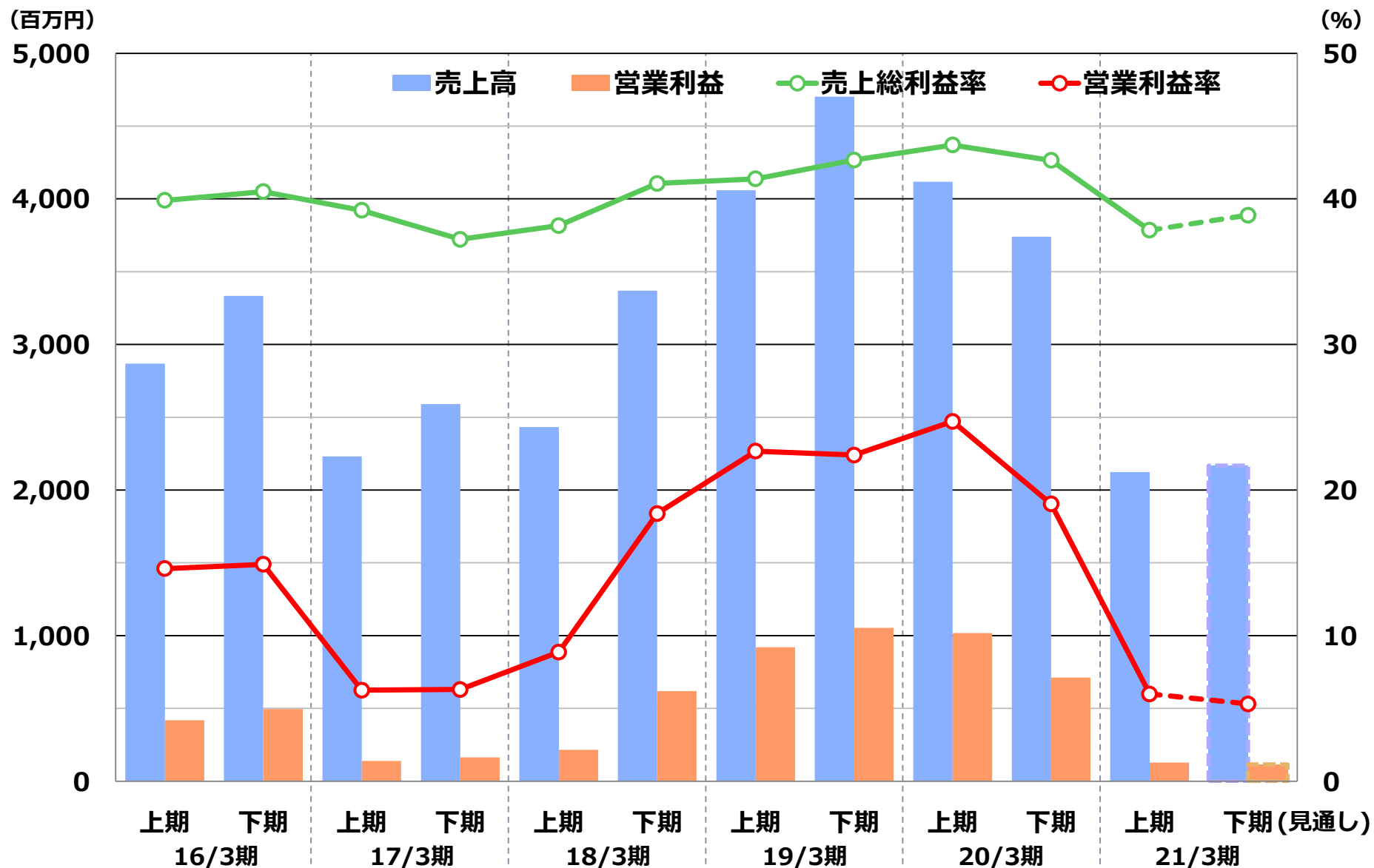
（単位：百万円）

	20/3期 通期 実績	21/3期 通期 見通し※1	上半期	下半期
			実績	見通し
売上高	7,858	4,291	2,123	2,168
売上原価	4,463	2,644	1,319	1,325
売上総利益	3,394	1,646	803	842
〔売上総利益率〕	43.2%	38.4%	37.8%	38.9%
販売管理費	1,664	1,404	676	727
営業利益	1,730	242	127	115
〔営業利益率〕	22.0%	5.6%	6.0%	5.3%
経常利益	1,751	256	133	122
〔経常利益率〕	22.3%	6.0%	6.3%	5.7%
当期純利益※2	1,156	177	89	88
〔当期純利益率〕	14.7%	4.1%	4.2%	4.1%
配当金（1株当たり）	年間 50円	年間 15円(予定)	中間 5円	期末 10円(予定)

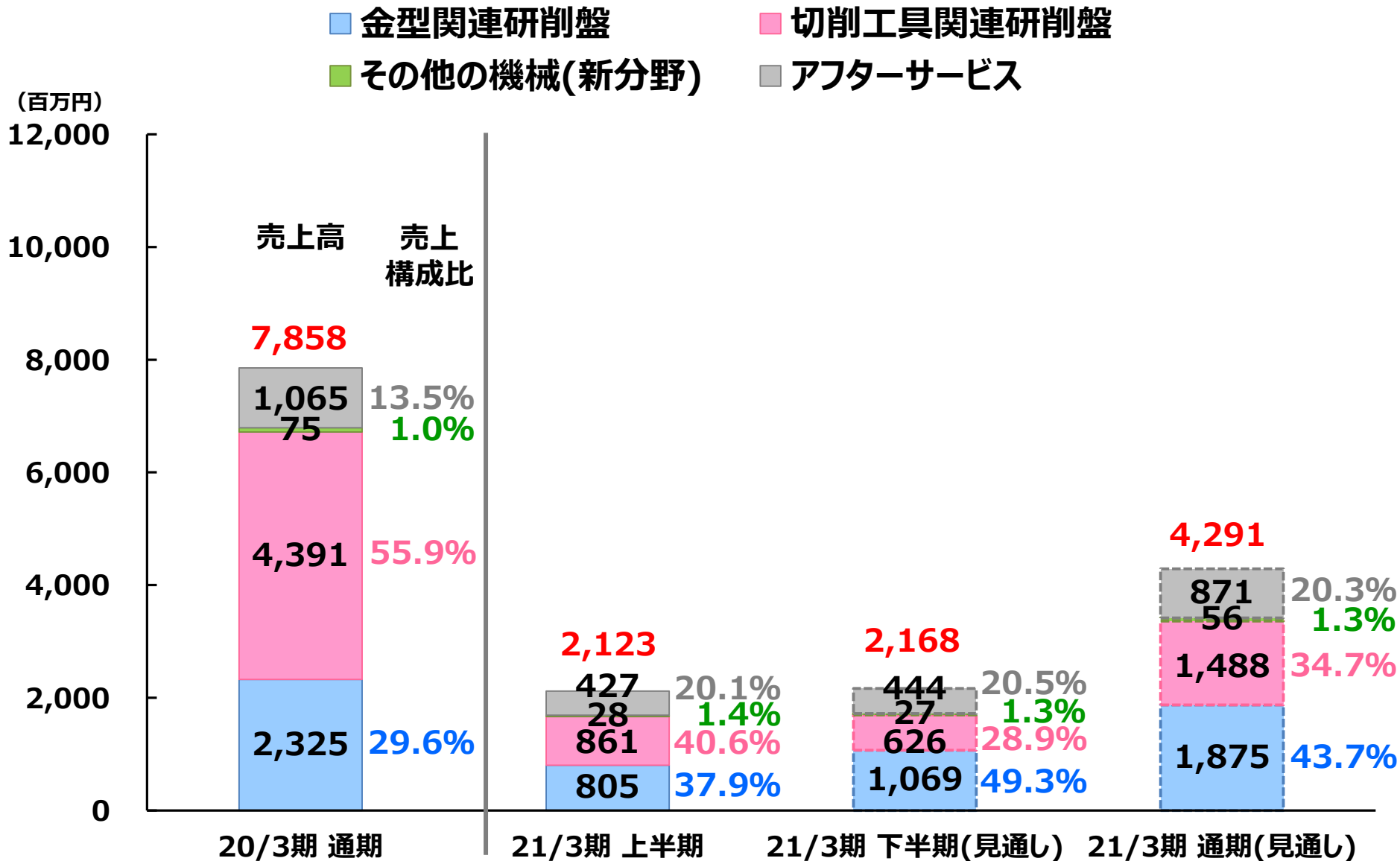
※1 2020/10/30 開示

※2 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として表示しております

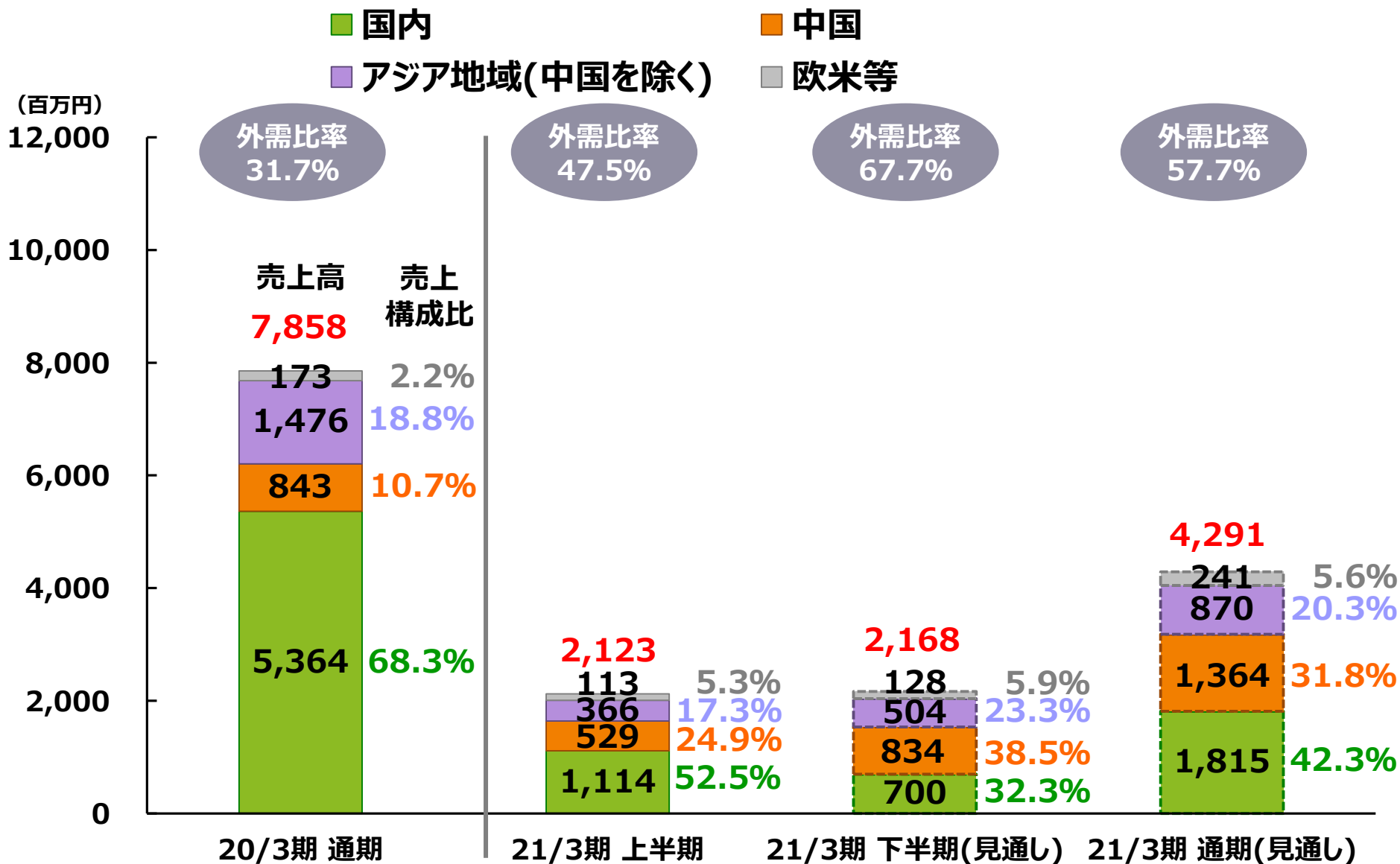
業績推移見通し（連結）



品目別売上高見通し（連結）



地域別売上高見通し（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。

経営課題の 進捗状況



■ 企業活動の現状

- ・ 営業活動
- ・ アフターサービス
- ・ 生産活動

■ 新型コロナ禍の影響下での新たな取組み

■ 展示会への対応状況

企業活動の現状

2020年10月時点

営業活動

- ・ 各地域でリモート（TV通話）を中心に営業活動を行っている。
- ・ 国境を越える移動を一部再開した。ただし渡航条件は厳しく、今後の緩和状況を判断しながら順次対応を進める。

アフターサービス

- ・ 海外出張は現在検討中。今後の渡航条件の緩和状況を判断し順次再開する。
- ・ 海外での修理対応は、一部の国で現地スタッフが対応するほか、リモート対応も活用している。
- ・ 国内での修理対応は、ほぼ平常ペースに戻りつつある。

生産活動

- ・ 国内および海外子会社ともに、一定量の生産は継続している。
- ・ 生産量の減少に対しては、改善活動や営業支援活動に積極的に取り組みながら対応している。

新型コロナ禍の影響下での新たな取組み

スマイルキャンペーン

新型コロナ禍の影響によりお客さまとの接触機会が減少するとともに、工場の稼働率も低下し余力が生じている。

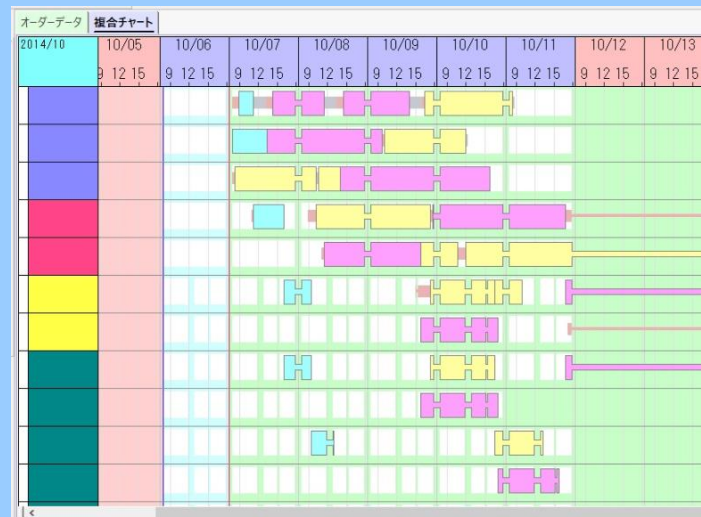
そこで、お客さまに「心のワクワク」をお届けすべく、技術員をお客さまの現場に派遣し親密に各種の対応を行うキャンペーンを実施している。

- ・ 技術ノウハウの提供
- ・ 当社製品の機能、使用法のトレーニング
- ・ 現場での技術相談
- ・ . . . などの対応を実施

生産改善活動

生じた余力をまとまった時間として改善活動に投じ、景気回復時に弾みをつけられるよう繁忙期にできなかった取組みを実施している。

- ・ 多能工化に向けた集中トレーニング
- ・ 生産工程のデジタル化の推進
- ・ 大がかりな5S改善
- ・ . . . などの取組みを実施



生産工程デジタル化の一例（生産スケジューラー）

展示会への対応状況

JIMTOF2020 Online に出展

「JIMTOF(日本国際工作機械見本市)」は、隔年で開催される日本最大の工作機械見本市です。今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インターネットを活用したOnline（オンライン）形態での開催となりました。

【開催期間】 2020年11月16日(月)～27日(金)

なお、閉会后12月11日(金)までは視聴可能

【出展内容】 全自動5軸複合インサート研削盤 APX-F50
全自動溝入れインサート研削盤 GIG-202
全自動プロファイル研削盤 iPG-X
インテリジェント ジグ研削盤 UJG-35i

当面、国内外の各種展示会もOnline開催となる可能性が高いため、今回のノウハウを生かし新しい営業活動の形として積極的に取り組んでまいります。

Waida New Products Exhibition 2020

展示情報

WAIDAのものづくり
最新技術の「ものづくり」を主題とした「ものづくり」に「こだわり」を注ぎます。
[詳しく見る](#)

アフターサービス
機械を納入してからのサポートが重要です。
「ものづくり」のサポートとして、お客様の期待に応じたサービスを提供しています。
[詳しく見る](#)

全自動5軸インサート研削盤 APX-F50
APXシリーズの最新モデルです。
コンパクトな機体で加工精度を向上させ、
高精度による高精度インサート研削が可能です。
[詳しく見る](#)

全自動溝入れインサート研削盤 GIG-202
溝入れインサートの自動化を実現。
高精度加工により安定した高精度加工が可能です。
[詳しく見る](#)

全自動プロファイル研削盤 iPG-X
高精度加工品の自動化加工を実現。
高精度加工を実現。
[詳しく見る](#)

インテリジェントジグ研削盤 UJG-35i
トップブランドUJG-35iの最新モデル。
オンラインモニタリング機能(LAI)を備え、
高精度加工を実現。
[詳しく見る](#)

< JIMTOF2020 Onlineの当社出展サイト >



本資料には、将来の業績見通し等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知ください。

<https://www.waida.co.jp>

問い合わせ先：経営企画部

TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020

E-mail : ir@waida.co.jp